



佐織中だより

～ 多様な「幸せ」実現 ～

愛西市立佐織中学校

第27号

令和5年12月8日

(発行者) 佐古 達哉

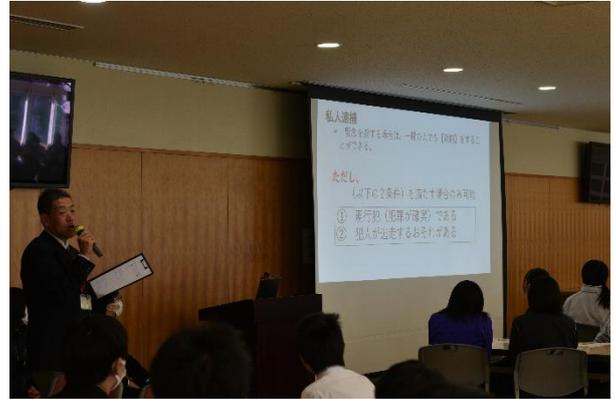
♪ 「人権集会」を実施しました

12月4日～10日は「人権週間」ということで、4日(月)5時間目にランチルームで「人権集会」を実施しました。

集会の冒頭では、私から「人権とは…」「権利とは…」という基本的な内容の確認とともに、現代の世の中でインターネットやSNSを介した【人権侵害】と思われる事案が多発している状況を踏まえつつ、特に「権利の濫用」という点にスポットライトを当てて話をしました。

その後の集会では、生徒会執行部の子たちが協力をしながら、「多様性」について考える場をつくってくれました。マンション等の共同住宅における「ペット」を巡る問題について、さまざまな視点から考察して、「多様性」ということについて考えました。

また、その後は本校での「タブレット端末の使用状況」について、「多様性」の視点を踏まえた上で自分事として考えてもらいました。家庭での「スマートフォンの使用」についても同様だと思いますが、こういったデジタル機器の使用については、自分たちの生活の「中心」とも言える題材であり、また自分の「欲求」や「権利」などと大きく関係する問題のためか、「正しいこと」と「こうしたいこと」の間で揺れ動く気持ちを抱えながらの授業になりました。以下に、集会の中で生徒が記述した意見や考えの一部を掲載させていただきます。ぜひ、ご家庭での話し合い等にも有効に活用していただけたらと思います。



【生徒の意見より】

- さまざまな権利があるが、他の権利を守ろうとするあまり人権侵害がされることは、あってはいけないことだと思った。権利があるからと言って、好きなことを何でもしていいというわけではない。
- 「多様性」とは、みんなの意見を全て許してしまうのではなく、一人一人の意見を認めた上で、どうすればみんなが心地よく過ごせるか方法を考えることだと思った。
- この集会を通じて、全員が同じ気持ちをもって、同じ意見を言うことはまずないに等しいからこそ、話し合っ相手の気持ちをよく考えるということがとても大切なんだと改めて気付くことができました。互いの違いや個性を大切にすること、自分さえよければ良いという考えはよくない。その考え方をみんなでなくすことができ、初めて「多様性が守られた」と言われると感じた。これからも相手の意見を尊重することを忘れず生活していきたい、と強く思うことができた。
- 「多様性の尊重」を掲げても、多様性と多様性のぶつかりでトラブルが発生していた。多様性と個人の両面を尊重し、生きやすい社会をつくっていくことが大切と学んだ。多様性だからといって、何もかも自由にして良い訳ではなく、自制心を持ちながら共存する意識をもって生きていくことが大事。
- 人権を守ることは大切なことで、相手の幸せを守ることなのかなと思った。
- 多様性とは、誰も置いていかれずに、みんな幸せになることだと思いました。

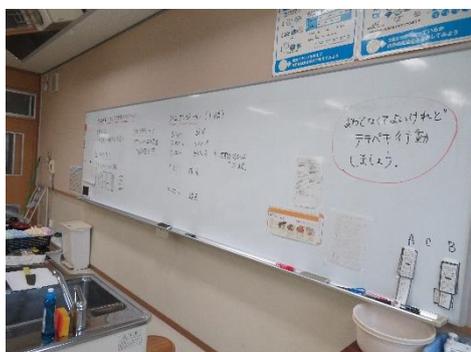
今回の「人権集会」では、現代社会に生きる子どもたちが避けては通れない題材を用いて、本校の学校づくりの柱でもある「多様性」という視点から考えました。今回の集会を通じて子どもたちの視野がより一層広がり、多くの人たちが幸せに暮らすことができる地域・社会づくりにつながってくれることを心から願っています。



♪ 多様な「大根」??

5日(火)には、1年生が家庭科の授業で「調理実習」を実施しました。

現在国で定められている「標準授業時数」で家庭科は、1・2年生で週1時間、3年生は2週で1時間という本当に限られた時数しかないため、以前のように年間に何度もいろいろな実習をやるのが難しくなっています。準備や片付けをきちんとやるところまで学ぶなら、少なくとも2時間程度は実習時間として必要になる活動ですが、そこを何とか現在の教育課程に沿った1時間に収められる準備・工夫をした上での実習となりました。ちなみに今回は大根を千切りにして「お吸い物」を作っていましたが、「絶対に1時間で完結させる！」という担当教員の気迫が伝わるかのようなきめ細かい準備は、本当に感動ものでした！！



そんなアツイ先生の思いがこもった調理実習の様子を見に行くと、子どもたちが笑顔で「切った大根見てー!」「熱いけどおいしいー!」「先生も食べる??」と、たくさんの声をかけてくれました。調理が終わって取り分けている器の中を見ると、グループの子たちの個性が伝わってくる大小さまざまな大根がびっしり入っていて、こんなところからも「多様性」を感じる実習になりました。ちなみに、ご自身の授業がないタイミングで駆けつけてくださった学年の先生方は、全クラスの実習が終わった給食の時間には、いろいろな意味でグッタリした表情になっていて、「(たくさん子どもたちが振舞ってくれた) お吸い物は、当分飲まなくていいなー」とつぶやいている様子を微笑ましく感じました。

